

節電相談役を担う静岡県地球温暖化防止活動推進センター
服部乃利子事務局長に聞く

節電の心得とは

節電の話しを聞いて、「今日から一生懸命節電に励むぞ」と意気込んで、なかなか長続きしないものです。節電は継続することが大事。我慢とか無理してやることはNGなのです。

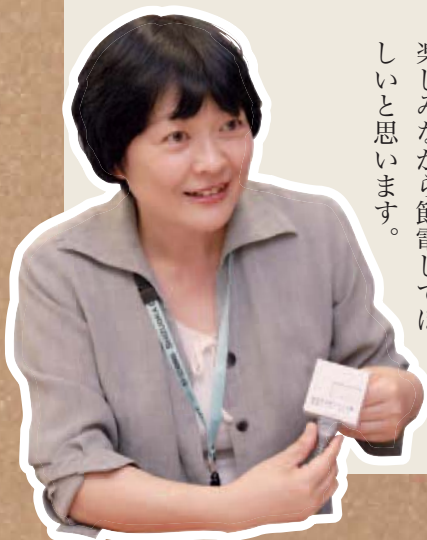
節電は、暮らしや生活の中に少し変化をつけてあげるだけで十分効果が得られます。1年に1回か数回取り組むだけでも節電になります。例えばエアコンは1年に半年しか使わないので、使わないときはコンセントを抜きます。それだけでも結構電力使用量を削減できます。節電ってそんな単純なことが大事なんですよ。

ほかにもあります。電子レンジは、朝昼夕の3回程度しか使わないですよ。使わないときはコンセントを抜くんです。そうすることで、待機電力をカット

トすることができません。ちょっと生活に変化をつけるだけで節電になっていくんですね。まずは簡単に無理なく、自分たちの

家庭の状況に応じた節電から始めてほしいです。節電は、みんなで取り組めば大きな成果を上げることが出来ます。新たなエネルギーを生み出しているのと同じですね。気をつけてコンセントを抜いても、本当に節電できたのかからな

いとおもしろくありません。検針票などをチェックして、ぜひ楽しみながら節電してほしいと思います。



実は、かなり節電しているんです！

市役所の取り組み

市役所では5月より、「市が率先して節電に取り組まなくては、市民は行動しようと思わない。まずは市が先頭に立って取り組もう」と節電に取り組んできました。

先日7月分の検針票が中部電力より届きました。7月分の電力使用量は45,051 kWh。一方、昨年度7月分は98,917 kWhで54%の電力量を削減しました。

その背景には、庁舎の空調工事などもありましたが、各

部署ごとで、

- ①電灯の間引き
- ②緑のカーテンの設置
- ③いち早くクールビズに
- ④パソコンの照度設定を低くする
- ⑤複合機を省エネモードに
- ⑥エアコンの設定温度は28℃などを積極的に取り組んできた成果です。

今後も市では、職員一人一人が節電意識を高く持ち、取り組んでいきます。皆さんも節電にご協力ください。



対昨年度7月比電力量

-54%